様式１別紙1-２（No.　　）

令和　　　　年　　　月　　　日

指定研修機関名

特定行為研修計画の概要

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 共通科目の概要 | | | | | | | | |
| １．共通科目の到達目標の設定の有無　　　　　　有　　　　・　　　　無 | | | | | | |  | |
| ２．共通科目の研修方法および時間数　　　　　　　　　　　共通科目の時間数の総計(④の合計)　　　　　　時間 | | | | | | | | |
|  | 1. 共通科目名   （独自の科目名がある場合は括弧書きで併記） | |  | 1. 研修方法 | | | ③評価  （上段：時間数、下段：方法を記入） | * 1. 時間数の合計 |
| 講義 | 演習 | 実習 |
| 臨床病態生理学 | | 時間数 |  |  |  |  |  |
| 場所 | 自　・　協 | 自　・　協 | 自　・　協 |  |
| 臨床推論 | | 時間数 |  |  |  |  |  |
| 場所 | 自　・　協 | 自　・　協 | 自　・　協 |  |
| フィジカルアセスメント | | 時間数 |  |  |  |  |  |
| 場所 | 自　・　協 | 自　・　協 | 自　・　協 |  |
| 臨床薬理学 | | 時間数 |  |  |  |  |  |
| 場所 | 自　・　協 | 自　・　協 | 自　・　協 |  |
| 疾病・臨床病態概論 | 主要疾患の臨床診断・治療 | 時間数 |  |  |  |  |  |
| 場所 | 自　・　協 | 自　・　協 | 自　・　協 |  |
| 状況に応じた臨床診断・治療 | 時間数 |  |  |  |  |  |
| 場所 | 自　・　協 | 自　・　協 | 自　・　協 |  |
| 医療安全学 | | 時間数 |  |  |  |  |  |
| 場所 | 自　・　協 | 自　・　協 | 自　・　協 |  |
| 特定行為実践 | | 時間数 |  |  |  |  |  |
| 場所 | 自　・　協 | 自　・　協 | 自　・　協 |  |

備考

１　右上の「指定研修機関名」は、指定研修機関の指定を受けようとする施設等の名称を記入すること。

２　様式１別紙１－２は、「共通科目の概要」について、２以上の特定行為区分に係る特定行為研修を行う場合、本様式に記入し1部作成すればよいこと。

３　「２．共通科目の研修方法および時間数」の①共通科目名について、独自の科目名がある場合は括弧書きで併記すること。

４　「２．共通科目の研修方法および時間数」の①共通科目について、「疾病・臨床病態概論」については、学ぶべき事項の「主要疾患の臨床診断・治療」と「状況に応じた臨床診断・治療」ごとに記入すること。また、「医療安全学」と「特定行為実践」については、一体的に記入しても差し支えないこと。

５　「２．共通科目の研修方法および時間数」の「場所」については、自施設又は協力施設の該当する項目を選択すること（両方に該当する場合は、両方選択すること）。研修を行う場所が、指定研修機関の指定を受けようとする施設の場合は、自施設を選択すること。「自」は自施設、「協」は協力施設の意味とする。

６　「２．共通科目の研修方法および時間数」の「③評価」については、上段に時間数、下段に評価方法を記入すること。評価方法は、通知の別紙７に示す評価方法（筆記試験、観察評価）を記入すること。

７　「２．共通科目の研修方法および時間数」の「共通科目の時間数の総計」は、共通科目の全ての時間数の総計を記入し、単位は時間で記入すること。

８　記入欄が足りない場合は、行を追加し記入すること。特定行為区分ごとの記入により複数頁にわたる場合は「（No.　）」に通し番号を記入すること。